

第 28 回 放送番組審議会議事録

2021 年 3 月

株式会社シーエス・ワンテン

株式会社テレビ朝日

1. 開催年月日 2021 年 3 月

2. 開催場所 書面開催

3. 委員の参加

委員総数 9 名 参加 9 名

出席委員の氏名

委員長	池井 優	(慶応義塾大学 名誉教授)
委員	黒鉄 ヒロシ	(漫画家)
委員	高木 美也子	(東京通信大学 人間福祉学部教授)
委員	戸張 捷	(株式会社ランダムアソシエイツ 代表取締役)
委員	丹羽 美之	(東京大学大学院 情報学環准教授)
委員	藤田 興彦	(児童育成協会 参事)
委員	前田 純弘	(昭和女子大学グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科教授)
委員	元村 直樹	(明治大学法学部兼任講師)
委員	四本 裕子	(東京大学大学院 総合文化研究科准教授)

放送事業者側出席者氏名

株式会社シーエス・ワンテン

代表取締役社長

福田 泉

業務推進本部長

渡辺 慎一

株式会社テレビ朝日

コンテンツ編成局総合編成部 部長

榊原 誠志

コンテンツ編成局総合編成部 担当部長

吉川 大祐

コンテンツ編成局総合編成部

川崎 栞

コンテンツ編成局総合編成部

小宮 立千

スポーツ局スポーツセンター

小林 麻衣子

スポーツ局スポーツ業務推進部

沖永 成敬

ビジネスプロデュース局 CS 事業部 部長

岡本 恵理子

ビジネスプロデュース局 CS 事業部 担当部長

谷 俊之

4. 議題

「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」、

「テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ」の番組について

◆テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ 番組審議

『世界体操 presents 体操ザムライのミカタ 第1弾』

<番組内容>

『ユーリ!!! on ICE』『ゾンビランドサガ』を手掛けたアニメーション制作スタジオ MAPPA による、オリジナルTVアニメーション『体操ザムライ』は、2020年10月10日よりテレビ朝日系列のNumanimation 枠で放送を開始。CSテレ朝チャンネルでも翌日に再放送することになりました。

テレ朝チャンネルでは独自の取り組みとしてアニメの再放送に加え、コアなファン層をターゲットとした特別番組「世界体操 presents 体操ザムライのミカタ」を制作・放送しました。

『世界体操 presents 体操ザムライのミカタ』はテレビ朝日スポーツ局体操班により制作されました。アニメ『体操ザムライ』は、「体操」をテーマにスポーツの世界を“熱く”描きつつ、“泣けて笑える”人間ドラマを展開。『体操ザムライのミカタ』ではアニメファンには体操の魅力を、体操ファンにはアニメの魅力を伝えることを目的としました。『体操ザムライ』に出演する声優陣や体操に詳しい著名人をゲストに迎え、テレビ朝日スポーツ局の豊富なアーカイブ素材を駆使したVTRとともに、『体操ザムライ』の魅力に迫っています。

第1弾の放送では、主人公・荒垣城太郎を演じる声優の浪川大輔、2004年アテネ五輪男子団体金メダリストであり、現在日本体操協会男子体操強化本部長の水鳥寿思氏をゲストに迎えました。主人公・荒垣城太郎と体操界のキング・内村航平を徹底比較しました。内村選手の独占インタビューや子供のころの貴重な映像も必見です。

今後も地上波番組と連携しながら、コアなファン向けにCS独自のオリジナルコンテンツを提供していきたいと考えています。

<委員意見>

- 地上波アニメの放送開始にあわせた番組だが、体操の魅力を伝える独自の番組としてもよく工夫されていた。コアなファン層向けのCSらしいコンテンツである。
- 『体操ザムライ』というアニメそのものの魅力をもう少し掘り下げてもよかったのではないか。
- 内村選手の解剖やアニメ表現の緻密さの掘り下げは良かったが、1時間番組では時間が足りない。
- 過去の映像アーカイブ、番組制作力といったテレビ局のアドバンテージをうまく活用した番組でした。
- 深夜に放送の番組だが、どのような視聴者をターゲットにしているのか疑問に思った。ターゲット層も絞りきれない中途半端な内容だと思った。
- 内村選手の紹介番組になっていた。キャリアのある有名選手なので目新しさはなかった。
- 体操界のキング内村航平を局所蔵の貴重な映像と内村自身へのインタビュー多用し、体操に関する知識が十分でない視聴者に理解を深めるのに極めて効果的であった。
- 全体として、「体操ザムライ」というアニメーション番組に期待し、見て見ようという気を起させる内容であった。

<番組担当者から>

この度は番組をご視聴・ご意見を頂戴しまして、ありがとうございました。

サッカーや野球に比べて、視聴者との“距離が遠い”「体操」。常々、この距離を縮めるにはどうしたらよいか、を考えている中、今回、体操を題材にしたアニメが放送するという事で、アニメ

から体操へ、興味を持って頂く絶好のチャンスと捉え、番組制作を行いました。さらに今回は、スポーツを放送するチャンネル2ではなく、チャンネル1で放送ということで、スポーツへの興味関心・体操の知識がない視聴者の方々が視聴者層であることを念頭におき、体操を知って頂く入り口として、知名度抜群の内村航平選手をテーマに置き、彼を通して、体操の基礎知識や、選手の凄さ・魅力を伝える構成としました。

ご指摘にありました通り第1弾の放送は、アニメ放送の前に収録していたこともあり、アニメの要素や映像のバリエーションが少なく、結果、体操にフォーカスする構成となってしまいましたが、アニメ・声優ファンがこの番組を通して、何か1つでも興味を持って頂けたら大変うれしく思います。

貴重なご意見・ご感想をありがとうございました。10月開催される世界体操・世界新体操北九州大会へ向けて、番組制作の参考とさせていただきます。

◆テレ朝チャンネル2 ニュース・情報・スポーツ 番組審議

『平山ユージ オンサイトに挑む』第一弾 トップクライマー瀬戸内を登る！

<番組内容>

プロフリークライマー・平山ユージ

10代で海外に渡り、アメリカ・ヨセミテ溪谷や、スペイン・ホワイートゾンビなど数々の世界難関ルートに完登。ワールドカップでは日本人初の総合優勝を成し遂げたクライミング界のレジェンド。

今回、平山と同じくプロフリークライマーの杉本怜、大場美和と共に、挑戦した内容は二つ。岡山・王子ヶ岳のボルダリングと、岸壁連なる小豆島でのリードクライミングを実施。番組の為に作られた「小豆島オリーブロック」の超難関新ルートを、一切の情報もなく一発で登りきる「オンサイト」に挑戦する模様を密着ドキュメント。

コロナウイルスによりスポーツイベントは無観客や人数制限を余儀なくされる現状の中、観客がいなくても、見ていて遜色のない種目はないかと考えた結果、フリークライミングにたどりつきました。以前はヘリ撮等で膨大な費用がかかったところを今はドローンや小型カメラを駆使して比較的安価で撮影できるという点も実現できたポイントかと思われま。

放送後、クライミング技術だけではなく平山ユージの生き方やクライミングに対する情熱などに共感する声が多くありました。

<委員意見>

○観る者として画面に引きつけるクライミングの磁力は、スピードとマシンの性能を競うオートレースに似る。静と動の両極に分かれても、命懸けと云う点が重なる。

○レジェンドの平山ユージがいかに素晴らしいクライマーで、このスポーツに魅せられてアメリカでの生活を淡々と2人に語っていく言葉は素晴らしかった。

○垂直に切り立った壁を身体ひとつで攻略していくフリークライミングというスポーツの魅力を堪能することができ、人間ドキュメントとしても楽しめた。

○ドローンや小型カメラを駆使したクライミング映像、控え目なナレーションやBGM、岩の上や焚き火を前にした長いインタビューなど、過剰な装飾を排した演出が、今回の番組の企画によくあっていた。

○クライマーと言っても登山ではなく岩山にボルダリングとリードクライミングで登る極めて力と繊細な技、努力が必要なスポーツと知り最後は応援していました。

- クライミングの種目、難易度、用具などの説明があればさらに理解ができ楽しかったのではないかと感じました。
- 平山氏の高卒後の渡米のエピソードは、焚火の前の語りだけで終わらせるのはもったいないほどだった。
- 技術面で気になるシーンがいくつかありました。予算不足が理由かもしれませんが、CS 番組のクオリティと制作費をどのあたりに置くか見直す時期に来ているのではないかと感じました。
- 静かな会話のシーンと対照的なクライミングシーンがあり、飽きずに視聴できた。

<番組担当者から>

各委員の方々のご意見ありがとうございます。

ルールの中で行われている競技と違い、大自然の中を自由に行われていることなので、見ている人が飽きてしまわないか心配しましたが、良い評価を頂きまして、ホッとしております。ややもすればイメージ映像になってしまうので、番組終盤に平山ユージさんの「オンサイトチャレンジ」（一切の情報もなく一発で完登する事）をいれ、盛り上がりを出しました。また、世界の舞台で活躍してきたユージさんならではの、言霊のようなコメントをどうにか引き出せないかを考え、焚火トークを思いつきました。今回頂きました貴重なご意見を、今後の番組制作に活かして行きたいと思っております。

5. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた2021年4月以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めています。

6. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

2021年4月以降に、ホームページに審議会概要を掲載ともに、放送番組としても公表する予定です。

7. その他の参考事項

次回の放送番組審議会は2021年9月に開催予定です。

以上